

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 7 月 24 日 (2008.7.24)

【公開番号】特開 2006-164256 (P2006-164256A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-024
 【出願番号】特願 2005-327279 (P2005-327279)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/60 1 3 2

G 0 6 F 17/60 1 5 0

G 0 6 F 17/30 2 2 0 Z

G 0 6 F 17/30 2 1 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 6 月 11 日 (2008.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンテンツに係る属性または当該コンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価システムであって、

第 1 のコンテンツにリンクされた第 2 のコンテンツに係る情報を記憶するコンテンツ情報記憶手段と、

前記コンテンツ情報記憶手段により記憶された第 2 のコンテンツに係る情報に基づいて第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価手段と、

を備えたことを特徴とする属性評価システム。

【請求項 2】

前記コンテンツ情報記憶手段は、第 1 のコンテンツに係る情報をさらに記憶し、前記属性評価手段は、前記コンテンツ情報記憶手段により記憶された第 1 のコンテンツに係る情報および第 2 のコンテンツに係る情報に基づいて第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価することを特徴とする請求項 1 に記載の属性評価システム。

【請求項 3】

前記コンテンツ情報記憶手段は、各コンテンツに係る重みの情報をさらに記憶し、前記属性評価手段は、前記コンテンツ情報記憶手段により記憶されたコンテンツに係る情報およびコンテンツに係る重みの情報に基づいて第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の属性評価システム。

【請求項 4】

前記コンテンツ情報記憶手段は、第 1 のコンテンツに係る重みの情報、および、第 1 のコンテンツに係る重みよりも小さく設定された第 2 のコンテンツに係る重みの情報をさらに記憶し、前記属性評価手段は、前記コンテンツ情報記憶手段により記憶されたコンテン

ツに係る情報およびコンテンツに係る重みの情報に基づいて、第1のコンテンツに係る属性または第1のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価することを特徴とする請求項3に記載の属性評価システム。

【請求項5】

前記コンテンツに係る重みを他のコンテンツによりリンクされた被リンク数、前記コンテンツにリンクされた他のコンテンツに係る重み、コンテンツがユーザにより閲覧された閲覧数、コンテンツに対応するドメイン名、または、コンテンツの更新頻度に基づいて決定する重み決定手段をさらに備え、前記コンテンツ情報記憶手段は、前記重み決定手段により決定された重みの情報を記憶することを特徴とする請求項3または4に記載の属性評価システム。

【請求項6】

前記コンテンツ情報記憶手段は、ユーザにより過去の所定の時間内に入力されたコンテンツの検索キーワードに係る情報をさらに記憶し、前記属性評価手段は、前記コンテンツ情報記憶手段により記憶された第2のコンテンツに係る情報および検索キーワードに係る情報に基づいて第1のコンテンツに係る属性または第1のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価することを特徴とする請求項1～5のいずれか1つに記載の属性評価システム。

【請求項7】

第1のコンテンツと第2のコンテンツとの間に設定されたリンクは、ハイパーリンク、または、コンテンツに対してトラックバックが実行されることにより設定されたリンクであることを特徴とする請求項1～6のいずれか1つに記載の属性評価システム。

【請求項8】

コンテンツまたはコンテンツに対応するメタデータに含まれる情報に基づいて当該コンテンツに係る属性を判定する属性判定手段をさらに備え、前記コンテンツ情報記憶手段は、前記属性判定手段により判定された属性に係る情報をコンテンツに係る情報として記憶することを特徴とする請求項1～7のいずれか1つに記載の属性評価システム。

【請求項9】

前記属性判定手段は、単語をカテゴリーに分類した情報を記憶したデータベースを参照し、コンテンツまたはコンテンツに対応するメタデータに含まれる単語を分類したカテゴリーに係る情報に基づいてコンテンツに係る属性を判定することを特徴とする請求項8に記載の属性評価システム。

【請求項10】

前記属性判定手段は、カテゴリーに分類した単語を階層化した情報を記憶したデータベースを参照し、各階層に属する単語に階層ごとにあらかじめ割り当てられた重みの情報に基づいてコンテンツに係る属性を判定することを特徴とする請求項9に記載の属性評価システム。

【請求項11】

前記データベースは、単語間の意味の包括関係に基づいて階層化した単語の情報を記憶したことを特徴とする請求項10に記載の属性評価システム。

【請求項12】

各階層に属する単語に階層ごとにあらかじめ割り当てられた重みは、前記包括関係の上位にある単語ほど大きいことを特徴とする請求項10または11に記載の属性評価システム。

【請求項13】

前記データベースにおけるカテゴリーのインデックスとなる単語が他のカテゴリーに属さないことを特徴とする請求項9～12のいずれか1つに記載の属性評価システム。

【請求項14】

前記属性判定手段は、地域のカテゴリーに地域に係る単語または地域に係る単語以外の単語を分類した情報を記憶したデータベースを参照し、コンテンツまたはコンテンツに対応するメタデータに含まれる単語を地域のカテゴリーに分類した分類情報に基づいてコン

テンツに係る地域の属性を判定することを特徴とする請求項 9 ~ 13 のいずれか 1 つに記載の属性評価システム。

【請求項 15】

前記属性判定手段は、コンテンツまたはコンテンツに対応するメタデータに含まれる緯度経度情報に基づいて当該コンテンツに係る地域の属性を判定し、前記コンテンツ情報記憶手段は、前記属性判定手段により判定された属性に係る情報をコンテンツに係る情報として記憶することを特徴とする請求項 8 に記載の属性評価システム。

【請求項 16】

前記属性判定手段は、コンテンツに係る地域の属性と当該コンテンツの内容を分類したカテゴリーの属性とを判定することを特徴とする請求項 8 ~ 15 のいずれか 1 つに記載の属性評価システム。

【請求項 17】

前記属性判定手段は、単語を感情、感覚または情緒に係るカテゴリーに分類した情報を記憶したデータベースを参照し、コンテンツまたはコンテンツに対応するメタデータに含まれる単語を分類することにより得られた感情、感覚または情緒に係るカテゴリーに係る情報に基づいて感情、感覚または情緒に係るコンテンツの属性を判定することを特徴とする請求項 9 に記載の属性評価システム。

【請求項 18】

前記コンテンツ情報記憶手段により記憶される第 2 のコンテンツに係る情報は、第 n ($n = 2, 3, \dots, m$; m は 2 以上の自然数) のコンテンツにリンクされた第 $n + 1$ のコンテンツに係る情報に基づいて決定された情報であることを特徴とする請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 つに記載の属性評価システム。

【請求項 19】

前記属性評価手段は、第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する場合に、所定の条件に合致するコンテンツに係る情報を評価に用いる情報から除外することを特徴とする請求項 1 ~ 18 のいずれか 1 つに記載の属性評価システム。

【請求項 20】

前記属性評価手段は、第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価したのち、第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性をコンテンツに対応するメタデータとして記憶することを特徴とする請求項 1 ~ 19 のいずれか 1 つに記載の属性評価システム。

【請求項 21】

コンテンツの検索要求を検索キーワードとなる単語とともに受け付けた場合に、前記属性評価手段により評価された第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性の情報を取得し、取得した属性および検索キーワードとなる単語を検索キーワードとして検索をおこなうコンテンツ検索手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 ~ 20 のいずれか 1 つに記載の属性評価システム。

【請求項 22】

前記属性評価手段は、第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性の評価結果をデータベースに記憶し、コンテンツのメタデータに記述された名前空間に基づく第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性の参照要求を受信した場合に、参照要求がなされた第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を出力することを特徴とする請求項 1 ~ 21 のいずれか 1 つに記載の属性評価システム。

【請求項 23】

前記属性評価手段は、コンテンツのメタデータに記述された名前空間に基づく第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性の参照要求を受信したのを契機として、第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価することを特徴とする請求項 22 に記載の属性評価シ

テム。

【請求項 2 4】

前記属性評価手段は、ユーザにより入力されたコンテンツの検索キーワードに基づいて評価した第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性の評価結果をさらにデータベースに記憶し、コンテンツのメタデータに記述された名前空間に基づく第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性の参照要求を受信した場合に、参照要求がなされた第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を出力することを特徴とする請求項 2 2 または 2 3 に記載の属性評価システム。

【請求項 2 5】

コンテンツに係る属性または当該コンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価プログラムであって、

第 1 のコンテンツにリンクされた第 2 のコンテンツに係る情報を記憶するコンテンツ情報記憶手順と、

前記コンテンツ情報記憶手順により記憶された第 2 のコンテンツに係る情報に基づいて第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価手順と、

をコンピュータに実行させることを特徴とする属性評価プログラム。

【請求項 2 6】

コンテンツに係る属性または当該コンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価方法であって、

第 1 のコンテンツにリンクされた第 2 のコンテンツに係る情報を記憶するコンテンツ情報記憶工程と、

前記コンテンツ情報記憶工程により記憶された第 2 のコンテンツに係る情報に基づいて第 1 のコンテンツに係る属性または第 1 のコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価工程と、

を含んだことを特徴とする属性評価方法。

【請求項 2 7】

コンテンツに係る属性または当該コンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価プログラムであって、

ユーザにより過去の所定の時間内に入力されたコンテンツの検索キーワードに係る情報を記憶するコンテンツ情報記憶手順と、

前記コンテンツ情報記憶手順により記憶されたコンテンツの検索キーワードに係る情報に基づいてコンテンツに係る属性またはコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価手順と、

をコンピュータに実行させることを特徴とする属性評価プログラム。

【請求項 2 8】

コンテンツに係る属性または当該コンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価システムであって、

ユーザにより過去の所定の時間内に入力されたコンテンツの検索キーワードに係る情報を記憶するコンテンツ情報記憶手段と、

前記コンテンツ情報記憶手段により記憶されたコンテンツの検索キーワードに係る情報に基づいてコンテンツに係る属性またはコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価手段と、

を備えたことを特徴とする属性評価システム。

【請求項 2 9】

コンテンツに係る属性または当該コンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価方法であって、

ユーザにより過去の所定の時間内に入力されたコンテンツの検索キーワードに係る情報を記憶するコンテンツ情報記憶工程と、

前記コンテンツ情報記憶工程により記憶されたコンテンツの検索キーワードに係る情報に基づいてコンテンツに係る属性またはコンテンツにアクセスするユーザに係る属性を評価する属性評価工程と、

を含んだことを特徴とする属性評価方法。